

関係団体等と連携した高病原性鳥インフルエンザ発生に備えた体制整備：岡山県岡山家保 村岡咲季、荒金知宏

備前県民局管内では高病原性鳥インフルエンザ発生に備え、家保を主体とした県関係機関で防疫計画を作成している。防疫措置時に協力を要請する市町・県建設業協会（関係団体）と協議の結果、迅速な防疫措置には関係団体の作業性等を考慮した防疫計画が必要と再認識。この度、管内の防疫措置が困難と考えられる 7 農場のうち 3 農場と付随する消毒ポイント（消毒 P）8 か所について、関係団体と現地調査を実施。その結果、掘削土置場や重機の動線を含む埋却地の面積不足、農場へ掘削重機等を搬送する際の障害物の確認不足、消毒 P の面積不足が判明。調査結果を基に、空撮写真等を用いた埋却予定図の作成及び消毒 P レイアウトを修正。面積不足の消毒 P については代替場所を選定。また、現地調査前後の意見交換にて関係団体から出た意見を整理し、防疫計画に反映の上、関係団体と共有。今後も関係団体と連携し、他の防疫困難農場の防疫計画精査に取り組む。